

第20回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2020 in 長崎

優秀演題 審査結果サマリー

- 全体 154題
- タイムリーなCOVID-19関連や、がんゲノム、PPI等の新たな取り組みに関する発表も多くみられた。
- 依頼者/CROからの発表も活発になってきた。
- その中から優秀演題選考委員による厳正なる審査の結果、次ページの演題を選出した。

Webによるe-ポスターという、新しい取り組みにチャレンジされ、たくさんのポスター発表をいただきました。多様な気づきと感動がありましたことを報告させていただきます。ありがとうございました。

第20回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2020 in 長崎

優秀演題一覧

	ポスター 番号	演題名	発表者氏名	受賞理由
最優 秀賞	P-112	がんゲノム医療における CRCの取り組みと役割	岡山大学病院 新医療研究開 発センター 治験推進部 宮本 理史	今後CRCの活躍が期待される分野であると思われ、 重要なテーマである。がんゲノム医療におけるCRC の可能性と重要性を体系的に示している。ポスター 構成もシンプルで要点が非常に理解しやすい。
優 秀 演 題 賞	P-134	新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症治療薬 の治験実施における課題と 対応	地方独立行政法人神奈川県立 病院機構 神奈川県立循環器 呼吸器病センター 臨床研究 所 治験管理室 小野田 由佳	COVID-19下で発生した問題点に対し、CRCの調整力 を活かして多職種で取り組んでおり、非常に有意義 な内容である。リスク分析の結果も踏まえ、ポイント が端的に美しくまとめられている。
	P-028	東京大学医学部附属病院に おける患者や一般市民を対 象とした臨床試験患者相談 の取り組み	東京大学 医学部 附属病院 臨床研究推進センター 渡部 歌織	PPI (Patient and Public Involvement) の取り組みとし て自施設で積極的に対応している点を高く評価した。 実績があり、他施設の参考となる活動である。
特 別 賞	P-097	CRCの成長と教育の経験に ついて、振り返りアンケート 調査～CRC教育のための 補助ツールの作成～	シミックヘルスケア・インス ティテュート株式会社 SSIカ ンパニー 岡山オフィス 本多 もも	CRCの初心者/育成者の視線がリアルであることに共 感を得られた。調査・分析方法が素晴らしく、効果 的な新人教育に繋がるツールが作成できていると思 われる。また、ポスターのデザインも良い。
	P-154	治験における併用薬に伴う 不要3項目のデータ収集の 実態調査	北海道大学病院 臨床研究開 発センター 小寺 紅美	併用薬の情報収集内容については、以前より問題と なっているが、その提言後の調査として取り組まれ、 データ収集項目のあり方について改めて考えさせら れる。本質を考えるとという本会議のテーマに合致し た発表である。

第20回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2020 in 長崎

優秀演題選考委員一覧

氏名	所属	区分
委員長 加藤 みどり	日本SMO協会 シミックヘルスケア・インスティテュート 株式会社	2. SMOに所属するCRC又は治験事務局長の経験が豊富な者
黒田 智	岡山大学病院 新医療研究開発センター	1. 医療機関に所属するCRC又は治験事務局長の経験が豊富な者
鈴木 由加利	新潟大学医歯学総合病院 臨床研究推進センター 臨床研究実施部門	1. 医療機関に所属するCRC又は治験事務局長の経験が豊富な者
伊藤 久裕	グラクソ・スミスクライン株式会社 開発本部 医薬品開発部門 山梨大学大学院 先端応用医学講座	3. 製薬企業もしくは医療機器企業に所属し、モニター等の経験が豊富な者
森 泰治	株式会社メドファーマ 臨床開発部	4. CROに所属し、モニター等の経験が豊富な者
福島 千鶴	長崎大学病院 臨床研究センター	5. 上記以外の治験に関わる者 (医師、IRB委員、患者会の代表、報道関係者等)